# 令和８年度第３回　「しが web アンケートプラス調査」

# （県内向け調査）の結果について

## １　調査の目的

滋賀県内にお住まいの方を対象として、滋賀県立大学に対する県民の認知度や関心度、大学選択において重視する点、大学に期待する情報発信や教育内容等を把握し、今後の大学の魅力向上や情報発信等の取組を検討するための基礎資料とする。

## ２　調査の概要

（１）調査対象　滋賀県内在住の満 18 歳以上の男女
（２）標本数　500 人
（３）調査方法　インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答する web 調査
（４）調査期間　令和８年９月７日（月）～令和８年９月 10 日（木）
（５）調査会社　株式会社ＩＴグローバルブレイン

## ３　調査項目

滋賀県立大学に関する認知度・関心度について

## ４　主な調査結果　※詳細は別添集計表（エクセル表）を参照ください。

Q1：　あなたは、「滋賀県立大学」を知っていますかについては、「知っている」が 51.8%と最も多く、次いで「大学名だけ知っている」が 35.8%、「知らない」が 12.4%となった。

Q2：「滋賀県立大学」について知っていることについては、「どこにあるか（立地）」が 60.1%と最も多かった。次いで「どのような学部があるか」が 25.2%であった。

Q3：あなたは、「滋賀県立大学」からどのような情報がもっと発信されるとよいと思いますかについては、「「学びの内容」が 18.2%と最も多かった。次いで「就職や進路」が 14.8%、「研究成果」が 14.1%であった。

Q4：　あなたが大学に進学する（もしくはお子様を進学させる）としたら、次の点はどの程度重要だと思いますかについては、「とても重要」と「やや重要」を合わせた割合は、「学びたい分野や内容があること」が 90.8%と最も高く、次いで「施設や学習環境の充実度」が 90.4%、「将来の就職やキャリアにつながること」が 89.2%、「学費や奨学金などの経済的条件」が 88.4%となった。

Q5：現在の滋賀県立大学はどの程度魅力的だと思いますかについては、「とても魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、「国公立大学であること」が 55.2%と最も高く、次いで「学びたい分野や内容があること」が 49.4%、「将来の就職やキャリアにつながること」が 48.4%、「通学しやすいこと（距離・交通手段）」が 46.8%となった。

Q6：「滋賀県立大学」の魅力を高めるためには、「就職やキャリア支援の充実」が 17.7%と最も多く、次いで「学びの内容やカリキュラムの充実」が 17.0%、「学費や奨学金などの経済的条件の改善」が 11.1%となった。

Q7： 学びの内容の強化については、「各分野の専門的な知識・技能」が 30.0%と最も多く、次いで「資格取得支援」が 16.4%、「課題解決力」が 16.0%、「AI を活用する能力」が 10.6%となった。

Q9： 自由記述では、下記のような意見が見られた。

・もっと知名度を上げて欲しい。
・あまり知名度がない気がするのでもっと発信して欲しい。
・滋賀の地域を活性化するちからがあるとおもう。
・滋賀県の経済を支える人材を育成して欲しい。
・研究成果を滋賀県でもっとアピールして欲しい。
・就職状況はどうなのか数字で出したほうがいい。
・地域に根ざした学びと国際的な連絡を大事にしてほしい。

## 5　結果考察・調査結果活用の方向性

今回の調査では、滋賀県立大学を「知っている」と回答した人が約５割であるものの、知っている内容は「どこにあるか」が中心であり、学びの分野や研究活動、地域連携の取組など、大学の中身に関する内容についてはまだまだ認知されていないことがわかりました。

また、大学進学に際しては、学びの内容、就職、学費が重視されており、滋賀県立大学の魅力を高めるために今後特に力を入れると良いと思うこととも整合しています。

滋賀県立大学では、地域に貢献できる人材の育成・輩出を、さらに強化するとともに、地域に根差した教育研究や人材育成の姿をわかりやすく発信していくことにより、大学への関心と魅力を高めていきます。